



SOIKEN

株式会社 総医研ホールディングス

BUSINESS REPORT

第28期 中間報告書

2021年7月1日から2021年12月31日まで



エビデンス(科学的根拠)に基づいた商品、サービスの開発という強みを活かし、中長期の持続的成長を見すえた事業展開に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第28期第2四半期(2021年7月1日から2021年12月31日まで)の決算が確定しましたので、ご報告申し上げます。



代表取締役社長

石神賢太郎

Q | 当第2四半期の業績についてご説明ください。

当第2四半期は新型コロナウイルス感染症の第5波となる感染拡大により消費活動や企業活動が大きく制限されたものの、緊急事態宣言の解除後は個人消費が持ち直したことから景気回復の兆しが見られました。こうした状況の中、当社は計画の着実な実行に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期の連結業績は、売上が前年同期を下回ったものの、経常利益および最終利益は増益となり、過去最高を更新しました。

セグメント別に見ると、化粧品事業が計画を上回る勢いで推移し、前年同期並みの業績を確保しております。中国市場において、いわゆる巣ごもり需要を背景として主力

商品シリーズである「Pro.シリーズ」の大規模イベント「ダブルイレブン」での販売が好調でした。

一方、機能性素材開発事業においては、ラクトフェリン原料の販売数量が伸び悩んだこと等から、売上高が減少傾向で推移しました。また、健康補助食品事業では、日本初の疲労感に関する機能性表示食品である「イミダペプチドドリンク」等の抗疲労商品に関して、夏場の需要期が「東京2020オリンピック・パラリンピック」と重なったことで、広告枠の確保が難しかったこと等から、新規顧客の獲得が想定どおりに進まず、おおむね前年同期と同程度の業績にとどまりました。

Q | 化粧品事業における中国の市場環境をどうとらえておられますか。

化粧品事業の中国市場の環境につきましては、価格帯の低い中国製の競合商品が相次いで登場し、販売競争が激化している状況の中、他社商品に流れたお客様から「やはり『Pro.シリーズ』の方が効能や品質がよい」というお声を多数いただき、リターン需要が生じています。エビデンスに基づいた商品開発を大切にしてきた点が、多数のお客様のご支持につながり、中国市場でのブランドの競争優位を築いていると考えます。

また、「ダブルイレブン」等の大規模イベントに過熱感があり、イベントがない時期に消費行動が鈍るといったリスクもございますし、中国の経済政策の方向性によってはインフルエンサーマーケティングに対する変化が生じる可能性があり、それが今後、現地での販売の役割を担う提携企業のGolong社（杭州高浪控股有限公司）の販売戦略に何らかの影響を及ぼす懸念もございます。

そのような状況の中でも、当社商品のさらなる拡販に対する期待から、Golong社が当社との関係強化を望む等、当社ブランドに対する根強い支持を感じており、化粧品事業の伸びしろはなお大きいと考えます。こうした事業の機会および脅威を冷静に見定めつつ、化粧品事業のさらなる発展をめざしていく考えです。

Q | セグメントの概況と見通しを教えてください。

化粧品事業においては、期首においてやや保守的な計画といたしましたが、上半期のダブルイレブン等の売上好調を受けて、通期でも計画を上回る見通しです。ただし、前期同様に下期は反動減が予想されることもあり、通期の計画は上回るものの、計画超過は上期よりも縮小する見通しです。

ヘルスケアサポート事業においては、契約健保組合員数や特定保健指導対象者の当社サービスの選択が増加し通期で計画を上回る見通しです。

機能性素材開発事業においては、ラクトフェリン原料の販売が下期も減少傾向にあることで当初計画を下回る見通しです。

健康補助食品事業においては、当第2四半期において広告宣伝費が計画比で未消化となり、新規顧客の獲得数が計画未達となったこと等を踏まえて、通期では当初計画を下回る見通しです。

通期の業績は、事業ごとの見通しに増減はあるものの、全体として計画通りに推移し現時点での業績予想に変更はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の広がりによる業績への影響について、現時点において見込まれるものは織り込んでおります。今後の動向を注視して適切に対応し、事業活動の効率性、持続性の向上を図ってまいります。

Q | 今後の方針や課題について教えてください。

中長期の課題として、化粧品事業の主力商品である「モイストクリームマスクPro.」に依存している現状につい

て、その是正が重要と認識しています。今後、主力商品に続く新たな柱となる商品を投入し育てることで、バランスの良い売上の商品構成へと進めていく考えです。

当社グループは生体評価システム等の事業から得られるエビデンスを活用し、エビデンスに基づいた化粧品や健康補助食品をグループ内にて開発できる点が大きな特長です。この利点を今後さらに活かすことで、競争力のある新商品の開発を進めてまいります。

一方で、新たな取り組みがすでにスタートし加速しています。たとえば、化粧品事業ではスプレータイプの日焼け止めである「PHプロテクトUVスプレー」の売れ行きが好調であることから、主力商品である「モイストクリームマスクPro.」に続く第二の柱に育てたいと考えています。また、日本におけるブランド再構築の取り組みを通じて事業のてこ入れを図っています。このほか、健康補助食品の中国展開等を計画しています。さらには、機能性表示食品に着目した新商品の研究開発を進めている段階です。

現時点で、通期の見通しは当初計画通りとなっておりますが、今後、直近の業績の上積みに注力するとともに、中長期の持続的成長に向けた投資を併行して行っていく考えです。これによって株主の皆様のご期待にしっかり応えてまいります。つきましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

「イミダペプチド ソフトカプセル」が 機能性表示食品として リニューアル



健康補助食品事業を行う日本予防医薬(株)は、2022年1月、「イミダペプチドソフトカプセル」を機能性表示食品としてリニューアルし、新発売しました(機能性表示食品 届出番号G537)。

「イミダペプチドソフトカプセル」は日常の生活で生じる身体的な一過性の疲労感を軽減する機能があることが報告されているイミダゾールジペプチドをソフトカプセルに200mg(3粒あたり)配合した商品です。



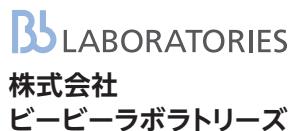
「イミダペプチドソフトカプセル」は90粒が袋(チャック付きのアルミパウチ)に入っているため、持ち運びがしやすいのが特長です。外出先や旅先でも飲みたい方や、朝はイミダペプチドドリンク、夜はイミダペプチドソフトカプセルという飲み方にもオススメです。すぐに吸収されるイミダペプチドドリンクと、ゆっくり吸収されるイミダペプチドソフトカプセルの特長を活かしてお召し上がりください。

届出表示

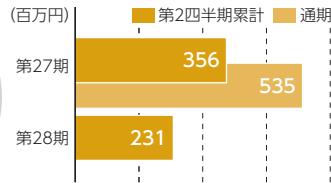
本品にはイミダゾールジペプチドが含まれています。イミダゾールジペプチドには、日常生活で生じる身体的な一過性の疲労感を軽減する機能があることが報告されています。一過性の身体的な疲労を自覚している方に適した食品です。

“エビデンス”で暮らし、医療に貢献

当社グループは、大学発のバイオマーカー技術に基づく「エビデンス」の構築および活用に強みを有しており、国民の健康の維持および増進ならびに医療資源の効率的活用等に資する様々なサービスや商品を開発し、提供しています。



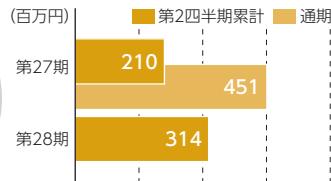
生体評価 システム 事業



売上高 **231**百万円(前年同期比35.2%減)

評価試験事業、医薬臨床研究支援事業ともに、概ね計画どおりの進捗となりましたが、当期に売上計上予定となる前期の受注状況が低水準であった影響により、前年同期比で減収となりました。

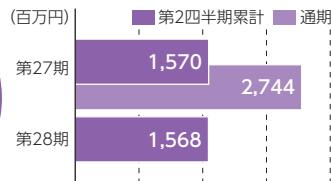
ヘルスケア サポート 事業



売上高 **314**百万円(前年同期比49.3%増)

契約健康保険組合が増加したこと、および機能性素材開発事業とのコラボによるラクトフェリンを使用した特定保健指導サービスの効果もあり指導対象者の当社サービス選択率が上昇したこと等から、前年同期比で増収および増益となりました。

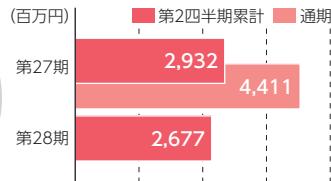
健康補助 食品事業



売上高 **1,568**百万円(前年同期比0.1%減)

費用対効果の確実性の高い広告媒体を厳選して広告活動を行った結果、広告宣伝費の投下が計画比で未消化となり、新規顧客の獲得数が計画未達となりましたが、既存顧客への販売が安定的に推移し、概ね前年同期程度の業績を維持しました。

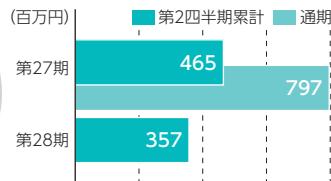
化粧品 事業



売上高 **2,677**百万円(前年同期比8.7%減)

中国市場向け商品の販売が、「天猫ダブルイレブン」に向けた出荷が堅調に推移したこと等から前期の下期の落ち込みからは回復したものの、前年同期の水準は下回ったことを主因として、前年同期比で減収および減益となりました。

機能性素材 開発事業



売上高 **357**百万円(前年同期比23.1%減)

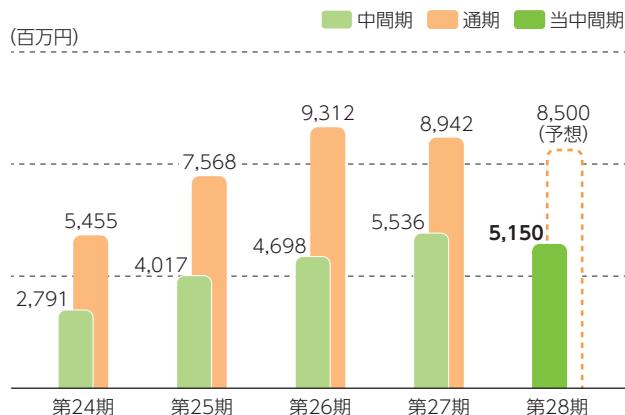
ラクトフェリン原料の販売が減少傾向で推移し、前年同期比で減収および減益となりました。

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第28期の期首から適用しており、第28期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

財務ハイライト

売上高

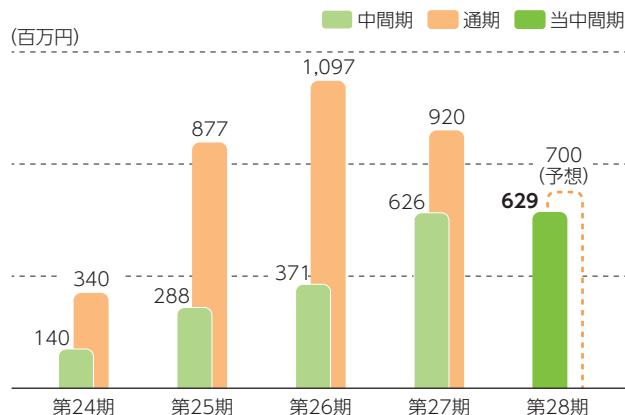
51億50百万円



化粧品事業における中国市場向け商品の販売が、前期の下期の落ち込みからは回復したものの前年同期の水準は下回ったこと、機能性素材開発事業においてラクトフェリン原料の販売が減少傾向で推移したこと等から、売上高は前年同期比で7.0%減少しました。

経常利益

6億29百万円



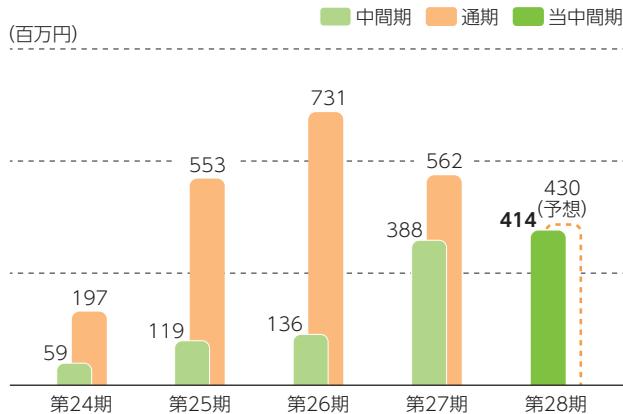
営業利益は減収を主因として前年同期比で減益となりましたが、経常利益は営業外収益の計上により前年同期比で0.5%の増益となり、第2四半期決算(累計)における過去最高値を更新しました。

○キャッシュ・フロー指標

	第27期 第2四半期 連結累計期間	第27期	第28期 第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△373,786	△107,441	1,232,200
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△10,941	△24,850	△23,352
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△130,964	△131,246	△129,469
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,003,643	4,255,805	5,335,183

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

4億14百万円

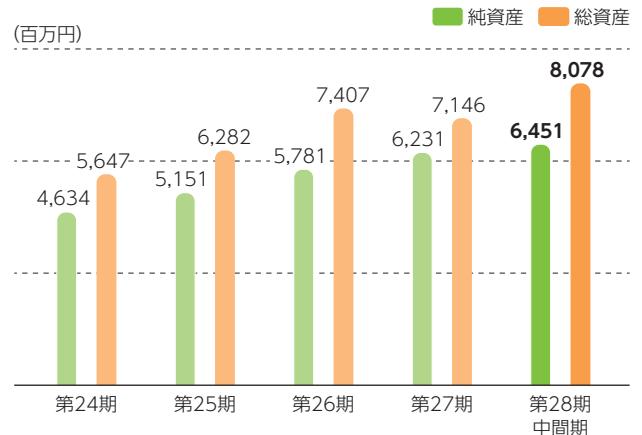


経常利益と同様の要因に加え、税金費用が前年同期比で減少したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で6.7%の増益となり、第2四半期決算(累計)における過去最高値を更新しました。

純資産・総資産

純資産 64億51百万円

総資産 80億78百万円



総資産は、現金及び預金ならびに受取手形、売掛金及び契約資産が増加したこと等から、前期末比で932百万円増加しました。純資産は、配当金の支払が減少要因となったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前期末比で220百万円増加しました。

○1株当たり指標ほか

	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期 第2四半期 連結累計期間
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	7.57	21.16	27.97	21.49	15.86
	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期 第2四半期
自己資本比率(%)	79.6	79.5	75.7	84.5	77.4

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第28期の期首から適用しており、第28期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

「Pro.シリーズ」から、8つの美容成分を配合した
さらりテクスチャーのUV対策スプレーをご紹介します

気になるときにすばやくケアできる、
スプレータイプの日焼け止め

PHプロテクトUVスプレー

SPF50+ / PA++++

化粧品事業を行う(株)ビービーラボラトリーズ「Pro.シリーズ」から8つの美容成分を配合したUV対策商品「PHプロテクトUVスプレー」をご紹介します。

「Pro.シリーズ」は、もともとプロのエステティシヤンの声に応じて開発したエステサロン等へ向けた、プロユースブランドではありますが、ご家庭でも簡単にプロの処方の効果を実感いただけることが評価されて人気を集めており、ビービーラボラトリーズの業績を牽引する中国市場向け商品の主力シリーズとなっております。

「PHプロテクトUVスプレー」は2019年発売以降累計40万本を超える人気の商品です。ビービーラボラトリーズの主力成分であるプラセンタエキスやヒアルロン酸、6種類の植物エキスが肌を整え、やさしく守ります。エアゾールタイプのスプレーなので、外出時にサッとひと吹きするだけで強力な紫外線をカットしてくれ、顔や身体はもちろん、髪など全身にも使えるうえに白浮きしないところも魅力の商品です。



会社概要

商号 株式会社総医研ホールディングス
(英文社名: Soiken Holdings Inc.)

本社 〒560-0082
大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号
千里ライフサイエンスセンター13階

設立 1994年7月26日

資本金 1,836百万円 (2021年12月31日現在)

株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数 86,396,800株

発行済株式の総数 26,158,200株

株主数 17,328名

大株主の状況 (2021年12月31日現在)

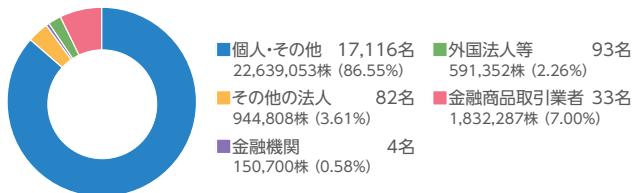
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
梶本 修身	4,426,800	16.9
梶本 智子	2,798,000	10.6
(株)GMS	702,100	2.6
楽天証券(株)	529,700	2.0
(株)SBI証券	353,037	1.3
ミストロ 真里	332,000	1.2
岩本 さゆり	332,000	1.2
天野 謙二郎	195,000	0.7
林 一弘	180,000	0.6
松井証券(株)	171,400	0.6

役員一覧 (2021年12月31日現在)

代表取締役社長	石 神 賢太郎
取締役	梶 本 修身
取締役	田 部 修
取締役	杉 野 友 啓
取締役	角 田 真 佐 夫
取締役	中 島 正 和
監査役	林 一 弘 (常勤)
監査役	市 田 直 志
監査役	古 谷 礼 理

株式分布状況 (2021年12月31日現在)

○所有者別



○所有株式数別



株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 9月中
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年 6月30日
中間配当 毎年12月31日
公告掲載方法 電子公告
(公告掲載URL <http://www.soiken.com/>)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
住所変更等の 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関にお申出ください。

株主優待のご案内

当社では、株主様からの日頃のご支援に感謝するとともに、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ること、および当社グループの事業へのご理解を賜ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

年1回(9月末頃)、毎年6月30日の株主名簿に記載または記録された株主様を対象として、株式会社ビービーラボラトリーズのお買物優待券および日本予防医薬株式会社のお買物優待券を贈呈いたします。

(株)ビービーラボラトリーズのお買物優待券

優待内容	ご所有株式数 100株以上499株以下	20%割引券 1枚
	ご所有株式数 500株以上	40%割引券 1枚
ご利用申込期限	毎年12月31日まで	
ご利用対象商品	原則として全商品 ^{*1}	
ご利用上限金額	ご所有株式数 100株以上499株以下	お買物合計金額 22,000円 ^{*2} まで
	ご所有株式数 500株以上	お買物合計金額 33,000円 ^{*2} まで

(ご注意事項)

- *1 雑貨やキャンペーン商品等、一部の商品は割引対象外となります。
- *2 ご利用上限金額は、割引適用前のお買物合計金額を基準として適用します。
- *3 お買物優待券は専用のお申込ハガキを兼ねたものとなっており、当該ハガキ以外の方法によるお申込み、またはご利用期限(消印有効)の後のお申込みは、お受け付けできません。
- *4 代金のお支払方法はクレジットカードまたは代金引換のみとなります。
- *5 商品の送料およびハガキの郵送料は当社側が負担いたします。

日本予防医薬(株)のお買物優待券

ご所有株式数100株以上の株主様を対象として、お買物優待券を贈呈いたします。

(ご優待価格の例)

イミダペプチド・同うめ風味・同ヨーグルト風味各30本入	定価 1個 7,500円(税込)を 株主優待価格 1個 6,000円(税込)
イミダペプチドQ10 30本入	定価 1個 9,450円(税込)を 株主優待価格 1個 7,560円(税込)
イミダペプチドソフトカプセル 90粒入	定価 1個 6,645円(税込)を 株主優待価格 1個 5,316円(税込)
イミダペプチドプレミアム 90粒入	定価 1個 9,450円(税込)を 株主優待価格 1個 7,560円(税込)

(ご注意事項)

- *1 お買物優待券は専用の申込書を兼ねた形となっており、当該申込書の郵送以外の方法によるお申込み、またはご利用期限(消印有効)の後のお申込みはお受け付けできません。
- *2 お申込みは各商品につき6個までとなります。
- *3 送料は、ご購入合計金額15,000円(税込)以上無料、同金額未満全国一律480円(税込)となります。